



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL(024)547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

新任挨拶



糖尿病・内分泌代謝内科 部長
佐藤 博亮

平成27年4月1日より、福島県立医科大学附属病院糖尿病・内分泌代謝内科部長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当科の対象疾患は、糖尿病、脂質異常症、尿酸代謝異常症などの生活習慣病や視床下部下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患などの内分泌疾患と広範囲に及びます。常に、正確に病態を把握し正確な診断を行い、合併症を評価し、個々の患者さんにとって、最適な治療法の選択を心がけております。

特に、糖尿病は、増加の一途をたどり、今や国民病と言われておりますが、福島県も例外ではなく、糖尿病患者数は全国第12位です。糖尿病の問題は、網膜症による失明、腎症による腎不全、心筋梗塞や脳梗塞など重篤な合併症を起こすことです。これらの合併症の発症・進展を予防するためには、個々の患者さんの病態に沿った治療を継続していく必要があります。そのためには、管理栄養士、看護師、薬剤師をはじめとした他職種の医療スタッフとの連携によるチーム医療が重要です。現在、当科では、腎症を合併している患者さんを対象に、管理栄養士や看護師と連携して糖尿病腎症透析予防外来や神経障害のある患者さんを対象にしたフットケア外来も行っており、合併症の進展予防に努力しております。今後、さらに他職種の医療スタッフとの連携によるチーム医療の充実と他の医療機関の先生方との病診連携の構築に取り組んで参ります。

また、基礎研究や臨床研究に取り組み、新しいエビデンスを構築し発信するとともに、患者さんに最高レベルの医療を提供

できるように、日々努力してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



看護部長 目黒 文子

平成27年度4月より、福島県立医科大学附属病院副院長兼看護部長を務めさせて頂くことになりました。まだまだ未熟ではありますが、自分の強みを生かして精一杯努めさせて頂きますので、ご支援よろしくお願いいたします。

これから当院は、①2025年の「超少子高齢化多死社会」を迎えるという社会の変化②それに伴う病院・病床機能の分化と連携、在宅医療の推進という医療界の変化③ふくしま国際医療科学センターが開設され「こども医療センター」「周産期母子医療センターの増床」、PFMシステム導入という院内の変化などに対応していくことが求められています。

その中で、看護部の役割として、どのように先を読み、組織として対応していくか大きな課題となっています。そこで、まずは最初の行動としてスタッフに「組織の一員として、自分の役割を自覚し、自ら学び、自ら考え、自ら行動できる」組織にしたいと呼びかけています。これからの変化に対応していくためには、必要な意識変革であると考えています。「当事者意識」「学習する組織」はこれらの課題を解決する大きな力になると考えているからです。

また、看護部は院内で最大の組織であると共に、患者の一番近くにいる存在です。これからチーム医療を推進するにあたり、医療スタッフの中でコーディネーターとしての役割が果たせるよう協力していきたいと思っております。

そして、スタッフが高いモチベーションをもち「看護の質向上」を常に考え、キャリアアップできるよう、また、離職防止に努め、働き続けられる職場とするための環境整備をすることを自分の使命として、管理を楽しみながら自己研鑽して頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたしません。

第30号のなかみ

- 1ページ……○新任挨拶
- 2ページ……○新採用者の紹介
○福島国際医療科学センター整備について
- 3ページ……○病院関連業者の紹介
○栄養士からのアドバイス
- 4ページ……○「けやきの会」リレー通信
○「看護の日イベント」開催

病衣・付添寝具

清潔と快適をクリエイトする。

DOJINSHA

〔ご利用・お問合わせ先〕

株式会社 同仁社
医大リネン室

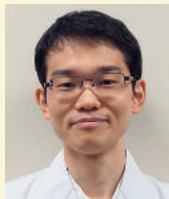
電話 024-547-1111
内線 3081

マチのほっとステーション

LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）
ローソン福島県立医科大学会津医療センター店

新採用者の紹介



研修医
鹿目 将至

はじめまして。鹿目将至と申します。四月より研修医一年目として福島医大にて研修させていただいております。日々たくさんの方々の

先生方、患者様に囲まれ、充実した時間を過ごしております。福島医大にいらっしゃる方々は本当に親切で、明るく、優しく、大好きです。少しでも早く一人前の立派な医師となって、皆様のお力になりたいです。未熟者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部 5階西病棟
細野 連理

今年度4月から医大病院の5階西病棟で看護師として働かせていただくことになりました。新しい環境の中で勉強の日々が続

いていますが、諸先輩方のご指導の下業務に励んでおります。2ヶ月が経ちましたが、未熟さを痛感しながらも先輩方や患者さんの笑顔に支えられる毎日です。迅速な判断力や確かな技術力はもちろん、患者さんが必要としている看護は何かを常に考えてケアを提供できるように精一杯頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



薬剤部 薬剤技師
穴戸 玲太

今年度から福島県立医科大学附属病院薬剤部に、薬剤技師として採用されました穴戸玲太と申します。かねてから憧れである当院で

働き、地元福島のために微力ながら力を尽くしていけることを嬉しく思っております。働き始めて2カ月余りでまだまだ未熟者ですが、一日も早く先輩方のような一人前の薬剤師になれるよう努力を尽くし、皆様と共により良い医療を提供できるよう日々精進してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。



放射線部 放射線技師
三瓶 司

4月から放射線技師として当院放射線部で働いています。三瓶司と申します。

働き始めて数ヶ月が経ちましたが社会人としても放射線技師としても日々、学ぶべきことばかりで充実した毎日を送っています。まだまだ未熟者ですが、先輩方の熱心なご指導の下、患者さんと接していく中で様々な事を学びとり、一日でも早く先輩方のように迅速で正確に信頼のおける検査を行えるよう、放射線技師としてのスキルを高めていきたいと思



検査部 臨床検査技師
遠藤 武尊

今年度より附属病院検査部一般・血液学検査室に配属されました臨床検査技師の遠藤武尊と申します。仕事に就いてから2ヶ月が経

ち、ようやく現場の雰囲気や検査業務に慣れてきました。それに伴い、正確な結果を迅速に出さなければならないという、医療従事者としての責任感も感じてきました。検査結果は医師の診断や治療に大きく関わるため、信頼の持てる検査結果を迅速に出せるように努力していきたいと思



医療情報部 事務
星野 可也子

こんにちは、医療情報部の星野可也子と申します。

医療情報部は主に電子カルテシステムの管理を行っています。患者さんと直接接する機会はあまりありませんが、少しでも患者さんの負担軽減に繋がるよう、病院業務のスムーズな遂行を支援出来るようなシステムへの改良に取り組んでいる部署です。日々学ぶことが多く、上司や先輩方に御指導頂いておりますが、一日でも早く仕事を覚え貢献出来るよう頑張ります。よろしくお願

福島国際医療科学センター整備について

血液内科

～D棟4階西病棟（無菌室）～

現在建設が進んでいる、ふくしま国際医療科学センターD棟の4階西病棟は主に血液に関する病気の患者さんの入院スペースとなる予定です。

白血病などの血液の病気に対する治療法の一つとして造血幹細胞移植療法があります。移植治療中は、微生物に対する抵抗力が著しく低下しているため移植専用の病室、いわゆる無菌室で過ごすこととなります。ひとたび無菌室に入ると白血球が増えてくるまでの3～4週間は、感染症にかからないようにするため原則的に無菌室から外に出ることはできません。

通常、無菌室の無菌レベルはクラス100の清浄度が必要です。クラス100というのは、1フィート立方(約28リットル)の空間中に0.5ミクロン以上の微粒子が100個以下しかない状態のことです。0.5ミクロンの微粒子は肉眼で見えることはできず大部分の細菌やカビはそれ以上です。ちなみに一般の手術室はクラス1万～10万(0.5ミクロン以上の微粒子が1万～10万個以下、本院の場合はクラス1万以下)、大都市の街中がクラス500万といわれています。

D棟4階西病棟は病棟の一区画をクラス100の無菌ス

ペースとし、このスペース内に3つの個室とラウンジ、シャワー室を設置し、患者さんに快適に過ごしていただけるよう工夫しました。ラウンジもクラス100ですから、個室からラウンジへの出入りは自由ですし、ラウンジには移植治療中でも運動できるようエアロバイクも設置する予定です。もちろんラウンジでは家族との面会も可能です。

D棟4階西病棟は全38床ですが、無菌室以外にもクラス1000の個室を5部屋、クラス10000の4床部屋を2部屋準備しました。

患者さんにはクリーンな環境で快適に入院生活を送っていただけるものと思っております。

病衣・タオル・紙おむつ・日用品

手ぶらで入院・手ぶらで退院

アイレンタル



お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口

024-548-8777

*院内1階、院外処方箋FAXコーナー横
月～土曜日 9:00～17:00 (日祝祭日休業)



株式会社アイシステムオフィス

～「架け橋」になれるように～

私ども(株)コムネットは、医療関連を中心とした人材派遣会社です。平成26年12月より、入退院支援センターにおいて受付業務をさせていただいております。

また、平成27年1月からは地域連携部で患者さんの支援業務も行っております。

入退院支援センターでは、入退院の受付窓口として、私達は主に患者さんの面談の予約を取り、面談に必要な書類のお渡しと、持参する物の説明をしております。入院の前日までには入院日の確認と体調の確認のための電話連絡をし、入院当日患者さんに安心してお越しいただけるよう努めております。

地域連携部では、患者さんの状態が安定され、地域の医療機関へ経過観察等をお願いする際に、患者さんと一緒にかかりつけ医を探し、患者さんのご希望に添うように、ご予約をおとりする業務を行っております。

また、医師の負担軽減を図るため、当院にご紹介して頂いた医療機関へ速やかに来院報告を行っており、他の医療機関とスムーズな連携を図るよう努めております。

私達は患者さんに安心していただけるような対応を目

指し、O F J T研修会等を開催し、その中で、安全管理や接遇向上に力を入れ、勉強会を行っております。患者さんと笑顔で接することができるように心がけ、今までの経験を生かし、患者さんをサポートし、患者さんと医療機関をつなぐ「架け橋」となるように努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



入退院支援センター



地域連携部

栄養士からのアドバイス

給食管理係長 **小林 英二**

栄養管理部からの業務概要

栄養管理係では、基本理念として

- (1) 治療効果に貢献できる食事の提供
- (2) 栄養食事指導の実施
- (3) 衛生的で安全な食事の提供
- (4) 患者さんに喜ばれる食事の提供

の4つの柱のもと、患者さんの栄養改善を図ることを目的に個々の患者さんの状態(病状・病態・摂取能力)に合わせた食事を提供しています。1回に提供する食事は490食近くに上がりますが、こうした多様なニーズに応えられるよう準備している食事の種類は、栄養成分や食形態別に57食種類に分かれています。

一般食：離乳食(前期・後期)、小児食(年齢別2種)、学齢期食、成人食、軟菜食、全粥食、七分粥、五分粥、三分粥、重湯、遅延食
 特別食(治療食)：蛋白制限食(4種類)、脂肪制限食、胃潰瘍食、術後食、低カロリー食(4種類)、小児低カロリー食、糖尿病性腎症食、小児ネフローゼ食、高蛋白食、生物禁止食、きざみ食、ミキサー食、嚥下訓練食、検査食、化学療法食、濃厚流動食

医療の一環として入院中の患者さんの病態に応じた適切な栄養管理を行うことにより、疾病の治癒あるいは治療効果の促進を図ることを目的としています。栄養指導は、医師の指示により、管理栄養士が患者さんの病態に応じた食事療法をご提案します。何をどのくらい食べたらよいのか、食べ方のコツや調理の工夫について、患者さんのライフスタイルに合わせた具体的な料理や献立をもとにお話しします。

1. 個人で行う指導

糖尿病・脂質異常症・心臓病・腎臓病・肝臓病・膵臓病・嚥下障害・呼吸器疾患・消化器系の術後(胃腸・肝臓・膵臓・炎症腸疾患など)、その他の疾患

月～金曜日に個別の栄養相談を実施しております。ご希望の方は、主治医にご相談ください。

2. 集団で行う教室

栄養相談、糖尿病教室、肝臓病教室、母親学級などの集団栄養指導を行っています。

- 栄養相談……食事についてのお悩みはありませんか?管理栄養士が皆様のお話をお伺いします。
- 糖尿病教室…腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科で開催している糖尿病教室で「食事療法の理論と実際」と題して、食事療法の観点からの糖尿病教室を開催します。
- 肝臓病教室…消化器内科外来で開催している肝臓病教室で「肝臓病における食事のポイント」についてお話をします。
- 母親学級……3F西病棟で開催しています母親学級で、妊娠中の食事などについて管理栄養士がお話をします。

NST(栄養サポートチーム)活動

栄養スクリーニングで問題のあった場合には、NST依頼になることがあります。適切な栄養管理を実践するためにNSTがあります。管理栄養士はNSTの実働部隊として活動しています。NSTは医師、管理栄養士、薬剤師、看護師、臨床検査技師などの多職種がチームを組み栄養管理を行います。

平成27年4月1日付けで、入院患者さんの食事提供・入院および外来患者さんの栄養指導を担ってきた栄養管理係が栄養指導係と給食管理係に分かれました。切り離しのできない臨床栄養管理と給食管理を連携し、適切な栄養管理に基づいた安全でかつ患者さんの満足度を満たす食事の提供、退院の食生活の改善につながるようなサポートに努力していきたいと思っております。

リレー通信 病院ボランティア「けやきの会」

病院ボランティア 二川目 やす子

私がボランティアを始めたのは平成20年度4月からです。余裕のある時間を有効に使いたいと思い始めた頃に募集を知り、お手伝いしたい一心で何の躊躇もなく、「けやきの会」に入会させて頂きました。

いざ始めてみると、来院される人数と介助を必要とする患者さんの多さに驚きました。それに、案内、介助、車イスの使い方と、毎日が学びの連続でした。どじでのろまな私は戸惑う事も多くありました。そんな時先輩の方々が大層に繰り返し教えて下さいました。今でもとても感謝しています。

休憩時には、雑談の中に多岐にわたる情報や納得のできるヒントが沢山ありますし、楽しい話に花が咲く事もあり、ボランティア同志の和を育む一時になっていると思います。活動を続けている間には、あの未曾有の大震災があり、

10日間程避難生活を経験しました。この時ほど助け合いの精神と絆という言葉が胸に響いた年はありませんでした。その後活動を再開し、現在に至っています。

発足して10数年になるという歴史ある「けやきの会」の活動は、高齢化が進む中、ますます重要になると思います。そして、会のモットーでもある「患者さんの側に寄り添った介助、過度にならない事も大切」であり、お手伝いをしてあげるのではなく、させて頂くことで、1人でも多くの患者さんにありがとうの気持ちになって頂けるように心掛けたいと思います。

いずれ必ず誰かのお世話になるだろうと考えると、今の活動がとても意義のある事だと感じるこの頃です。

「看護の日イベント」開催

看護部 尾形 瑞子

今年度もナイチンゲール生誕日に合わせ、5月13日14日に「看護の日イベント」を開催しました。イベントでは、身長体重・血圧・体脂肪測定や看護師や栄養士の相談コーナー、また感染管理認定看護師による手洗いコーナーを設けました。大勢の方が健康について相談をされ、また食事について栄養士からアドバイスを受けていました。手洗いコーナーでは特殊な器械で洗い残しを確認し、正しい手洗いの方法について学ばれていました。メッセージコーナーでは看護師への感謝や応援の言葉が寄せられ、皆さまからたくさんの元気をいただきました。

また今年度は、患者さんの医療および医療安全への参加をお手伝いし、患者さんと医療者との協働を深めることを目的に、『いろはカルタ』に取り組みました。そこには安全を求める患者さんの声がありました。これからも患者さんが安心して治療を受けることができるよう、安全で温かみのある看護を提供していきたいと思っています。



すべてを地域のために

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間:平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

